訓練実施結果報告書

訓練名	平成２６年度津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会帰宅困難者対応図上訓練
目的	降雪による帰宅困難者が発生した場合に備え、その対策訓練として、降雪により、津田沼駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したと想定し、帰宅困難者支援マニュアルに基づいた情報伝達や関係機関、一時滞在施設の対応等について手順の確認をし、降雪等の場合でも現行のマニュアルで対応が可能かを検証することを目的とする。
日時	平成 27 月 2 月 4 日（水）14 時から 16 時まで
会場	習志野市消防本部 5 階講堂
実施要領 及び 時間経過	【実施要領】 コントローラーが付与する各状況に応じて、各機関が状況を判断し、対応方針を決め、処置表に基づき発表する。 【時間経過】 14:00～　協議会会長挨拶 14:04～　各機関の自己紹介 14:13～　訓練の説明 14:17～　市役所の体制の説明 14:25～　図上訓練 ・状況付与 ・方針・対応 ・発表 15:50～　各機関の所見発表 15:55～　総括 16:00　訓練終了
参加機関	（1）訓練参加者 協議会委員49名（内　習志野市危機管理課8名） ※参加者の詳細は別紙「訓練当日出席者名簿」のとおり （2）報道機関 2社（東京新聞・J:COM 船橋習志野） （3）見学者 5名

担当課 所感・課題	平成２６年２月に、記録的な大雪により、本市においても帰宅困難者が発生した。今後の降雪による帰宅困難者が発生した場合に備え、その対策訓練として、津田沼駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したという想定のもと、図上訓練を実施した。 目的の１点目、帰宅困難者支援マニュアルに基づいた情報伝達や関係機関、一時滞在施設の対応等についての手順の確認については、各機関がどういった方針を決め、どういった処置をするか、各機関の前で発表したことから、概ね共有できたと見受けられる。 目的の２点目、降雪等の場合でも現行のマニュアルで対応が可能かという件については、各機関の発言では、概ねマニュアルに則っていたことから、特段修正する必要はないと判断し、降雪等の場合でも、マニュアルを活用できることがわかった。 また、降雪時による帰宅困難者の発生については、地震の場合と違い、ある程度時間が経過した後に発生する。各機関は、その事を理解して、先を見据えて、方針を決めていた。これは、帰宅困難者が発生した時にすぐに対応できるため、非常に重要なことであると考える。今回、訓練を実施した結果、雪による帰宅困難者が発生した場合でも、訓練の成果が十分に発揮できれば混乱する状況は避けられると感じた。 今後も、帰宅困難者の対応をスムーズに行うために、情報伝達や関係機関の対応については、本協議会に参加する全機関で共有すべきであることから、定期的に訓練等を実施し、様々な課題を浮き彫りにさせ、それを解消していく必要がある。
問合せ先	企画政策部危機管理課　　電話番号：047-451-1151（内線 345）